

研究計画書

ゼミ名	宮本ゼミ	チーム名	ESG
タイトル	ESG 課題達成に向けて企業が動いてくれるには		
テーマ群	c) 公共経済		
メンバー	馬場一瑛 玉井翔伍 山本泰士 古塚暉大 大西海斗		
研究計画内容	<p>【研究背景】</p> <p>近年、気候変動と生物多様性問題は深刻な問題として考えられている。特に生物多様性問題に関して、世界経済フォーラム（WEF）（2020）は、世界全体の GDP の半分以上に相当する 44 兆米ドルもの経済的価値が生物多様性に依存しており、過去に人類が経験したことのない生物多様性の喪失によって、これらの経済的価値が損なわれるリスクにさらされていると指摘している。また、気候変動と生物多様性の問題はこれまで別々の問題として議論されることが多かったが、現実には、自然保護と再生に取り組むことなくして気候変動を含む地温暖化問題を解決することは難しいため、気候変動問題と生物多様性問題は密接に関係していると言える。</p> <p>そこで、それらの問題を解決するために我々は、ESG に着目した。ESG とは環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の頭文字を取って作られた言葉である。また、その ESG を含む ESG 投資とは環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）に配慮した企業を重視した投資を行い、持続可能な発展を目指すことである。この ESG 投資が促進されていけば、気候変動や生物多様性の問題を解決することにつながるのではないかと考えた。</p> <p>【研究内容】</p> <p>本研究では、注目されつつある一方で、広まりきらない生物多様性問題への ESG 投資について気候変動の事例や生物多様性主流化の阻害要因を参考にしながら、ESG 投資と生物多様性問題の関係を分析する。生物多様性には気候変動対策指標として使われる CO2 削減量のようなわかりやすい定量的指標はないが、建物緑化、事業所・プロジェクトおよび企業活動全般を対象とした様々な生物多様性に関する評価手法があるため、それらを使って、ESG 投資との関係性を分析する。</p> <p>【期待される効果】</p> <p>生物多様性と ESG 投資の関係性が明らかになることで、気候変動や生物多様性問題解決のために企業や投資家がどう取り組んでいけば良いかが明確になることが期待される。これにより、企業や投資家が動きやすくなり、生物多様性拡大の手助けとなると考えられる。さらに、生物多様性への投資が増えることで、生物多様性と相互に影響する気候変動や地球温暖化問題への新たな解決策が見つかることが期待される。</p> <p>【参考文献】</p> <p>世界経済フォーラム「グローバルリスク報告書 2020 年版」 2023 年 10 月 20 日閲覧 https://www3.weforum.org/docs/WEF_New_Nature_Economy_Report_2020_JP.pdf</p>		